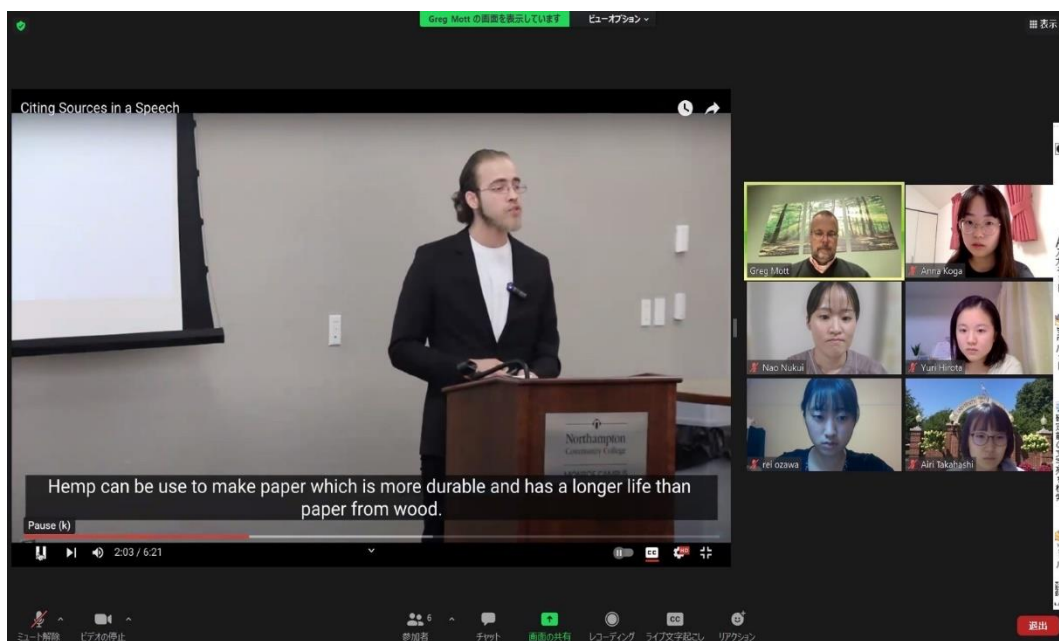


中間レポート② 令和4年度埼玉県・オハイオ州グローバルスピーカープログラム後期（オンライン）

# 気づきの多い OSGS プログラム

高橋 愛里



## 講義の内容

半年間の講義も早いもので終わりを迎えました。モット先生の講義は話す機会が多く、とても楽しかったので少し寂しく感じます。

講義では実践的にプレゼンテーションの方法について学びました。声のトーンや身振り手振り、話す速度、間の取り方など実際にプレゼンテーションを行う上で重要なテクニックを学びました。今までのプレゼンテーションではゆっくり話すことは心掛けていたのですが、それ以外のことはあまり気にかけることができていなかったため、新しい学びでした。また、講義内でよいプレゼンテーションと悪いプレゼンテーションの動画を見たことで、いかに声のトーン一つで相手への伝わり方が違うかを体感しました。

モット先生は私たちが話しやすいように時にユーモアたっぷりに教えてくださいました。特に印象に残っている先生の言葉は「人間が最も恐れることは死ではなく、人前で話すことだよ。」です。これから最終プレゼンテーションを控えて緊張している私たちを励ますための言葉でした。この言葉を胸に最終プレゼンテーションに向けての準備も頑張っていきたいです。

## 埼玉県親善大使の活動

10月にメンバーの小澤さんと一緒に藍染体験に行きました。私は埼玉県で生まれ育ったのですが、埼玉親善大使になるまで埼玉県で本格的な藍染体験ができることを知りませんでした。訪問した「ふしぎぼっけ」は藍染体験では珍しく「絞り」だけではなく、「型」で柄を作ることができました。私は埼玉県のマスコットキャラクターのコバトンの型を使って藍染めをしました。かわいい柄なのでコバトンファンの方はぜひ行ってみてください！！

藍染する上で苦戦したのは、のりを均等に塗ることでした。均等に塗らないと柄に斑ができてしまうのですが、職人の方と同じようにやっているつもりでも上手くできませんでした。職人の方の長年の経験に基づく技に驚きました。藍染が終わるのを待っている間に職人の方のものづくりの楽しさや藍染について話しました。今回参加するまでは伝統工芸と聞くと少しハードルが高く感じていたのですが、手ぶらで色々な世代の方が参加していると聞き、また参加したくなりました。



## ペアとの交流

最終プレゼンテーションに向けて毎週、ペアの Desiree と電話しています。以前は英語でコミュニケーションが取れるか少し不安だったのですが、毎週の電話のおかげで最近はお互い楽しく交流できています。前回の電話では校内案内をしてくれました。話が盛り上がって1時間ずっと雑談をしていました。

プレゼンテーションの準備では今までの雑談とは違い、専門的な単語を使う機会も多いので使い方について教えてもらっています。プレゼンテーションの話題の切り替えの時の言い方など私が知らない言い回しを教えてもらって勉強になっています。